

東日本大震災から
9カ月

「福島差別を考えるシンポジウム」

2011年

日
時

12月11日(日)
13時～16時

場
所

難波別院（南御堂）
同朋会館講堂
（定員 250名）
地下鉄「本町駅」

参
加
費

無 料

福島第一原子力発電所の事故によって避難された方や福島県の方が、学校で「放射能がうつる」などと、はやし立てられたり、転入や入居、自動車の通行やタクシーの乗車などを拒否されたりという、いわゆる福島差別が起っています。
「福島」への差別・排除の解決なしに震災からの復興はありません。
差別についてともに学び、復興を考えていきましょう。

講師紹介



さくらい かつのぶ

◇桜井勝延さん(福島県南相馬市長)「東日本大震災と復興」

1956年生まれ。福島県南相馬市原町区出身。2003年に原町市議会議員、2006年に南相馬市議会議員を経て2010年より現職。東日本大震災による福島第一原発事故後、動画サイト「YouTube」で、支援物資が南相馬市内に入ってこない窮状を全世界に訴え、ニューヨークタイムズの「世界で最も影響力のある100人」に選ばれる。福島県南相馬市の復興に全力で取り組んでいる。



いいた きよかず

◇飯田清和さん「原子爆弾と被爆者差別」

1935年生まれ。大阪市住吉区在住。1945年8月6日、9才（国民学校3年生）の時、広島市で被爆する。広島への原爆投下の10日前に、模擬原爆（原爆投下訓練用）が大阪市東住吉区田辺に投下されたことをテレビで知る。それをきっかけにこれまで被爆体験を語られなかったが、2003年から学校などで広島被爆者としての体験を語り、命の尊さや平和の大切さを訴えている。



むらた さぶろう

◇村田三郎さん「放射線の影響 正しい知識」

内科医、阪南中央病院副院長。水俣病、原爆被爆や原発労働者の被曝・労災、JCO臨界事故の裁判にかかわる。原発の労働者被ばく問題に長年関わり、被ばく労働に関する労災認定に尽力。内部被ばくにも警鐘を鳴らし続けている。



おくだ ひとし

◇奥田均さん（コーディネーター）

近畿大学人権問題研究所教授。
大阪市社会福祉協議会理事、大阪人権博物館理事、大阪府人権協会理事。
差別禁止法の制定を求める市民活動委員会共同代表。

- ◇主催：大阪府内被災者相談支援協議会
関西被災者支援相談ネットワーク・大阪府府民文化人権室・財団法人大阪府人権協会
- ◇協力：差別禁止法の制定を求める市民活動委員会、大阪弁護士会、大阪司法書士会、
社会福祉法人大阪市社会福祉協議会、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、
真宗大谷派難波別院

◇申込・問い合わせ：財団法人大阪府人権協会 電話 06-6581-8613
FAX 06-6581-8614（裏面申込書） メール info@jinken-osaka.jp



福島差別についての無料相談
被災されてふる里から離れ暮らしている方の無料電話相談

0120-760-222 毎週月・火 14時～20時（2012年3月末まで）

FAX送信状

「福島差別を考えるシンポジウム」参加申込書

参加希望者名 (シンポジウムに関する連絡に使用しますので、必ずご記入ください。)

お名前	所属名	TEL
		FAX
お名前	所属名	TEL
		FAX
お名前	所属名	TEL
		FAX
お名前	所属名	TEL
		FAX
〈連絡事項〉		

車イス利用駐車スペースや座席、手話通訳が必要な場合は上記〈連絡事項〉欄にご記入ください。

〈南御堂・同朋会館 地図〉

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-11
 TEL(06)6251-5820(代表)
 FAX(06)6251-1868
 地下鉄御堂筋線本町駅8号出口南へ200m
 地下鉄中央線本町駅13号出口南へ50m

お願い: 駐車スペースがございませんので公共の交通機関をご利用下さい。

※ 申込の際の個人情報は、このシンポジウムの運営のみに使用します。

